

岡田知弘

京都大学大学院経済学研究科教授
自治体問題研究所理事長

1954年生まれ。経済学者で専門は、地域経済学、農業経済学。地図を片手に調査旅行することと、本を読むのがメシより好き。「寅さん」と藤沢周平が好きな「なにわ節の合理主義者」。事実から発想する自由な創造的精神を追い求める。主な著書に「一人ひとりが輝く地域再生」「人間にとっての都市と農村」「核の世紀―日本原子力開発史」など多数。

記念講演

持続可能な豊かな国を地域から

住みやすく子育てしやすい

特別講演 御代田町の取り組み

9/14 (金)
2018

受付 11:30 ~
全体会 13:00 ~ 16:15

15 (土)
受付 8:50 ~
分科会 9:00 ~ 12:00

資料代

4,000円 (2日目のみの参加は2,000円)
(学生は無料)

茂木祐司



長野県御代田町町長

本集会は、憲法が活きる地域人権の創造に向けて、地域社会の今日的課題を明らかにし、人権と民主主義、住民自治の確立をめざす住民運動の到達点と課題、住民の要求と事業化を含む運動の前進、行政や教育のあり方を忌憚なく議論します。

いま、「地方消滅」論が少子高齢化のもとで根強い広がりを見せ、都市への人口集中(のちに高齢者高密度社会)、人口大幅減少による「地方自治」崩壊化、コンパクトシティーや学校統廃合の強行などが進行し、暮らしやすい地域社会はどうしたら実現できるのか。また、部落問題解決の到達点をふまえ、「部落差別解消法」の実効化阻止の取り組みなどを交流し、真の部落問題解決とは何かを探ります。

全体会場

全電通労働会館 多目的ホール

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3丁目6
JR中央・総武線・御茶ノ水駅聖橋口出口徒歩5分

分科会場

損保会館 101-8335 東京都千代田区神田

淡路町2丁目9
JR中央・総武線・御茶ノ水駅聖橋口出口徒歩5分

憲法を暮らしに活かし、住みよい地域社会に

—いつまでも住み続けられ、平和で人間らしく、幸福に暮らせる地域社会の実現のために—

第14回 地域人権問題全国研究集会

主催：全国地域人権運動総連合(全国人権連) 〒116-0003 東京都荒川区南千住2-16-6
東京人権と生活運動連合会(東京人権連) TEL 03-5615-3395 FAX 03-5615-3396 E-mail: zjr@mbg.nifty.com

キリトリ

第14回 地域人権問題全国研究集会 参加申込書 (全国人権連または各都府県連に郵便・FAX・メールにて8月31日までにお寄せください)

都道府県名		フリガナ 氏名	
連絡先	〒 -		
TEL		Eメール	
FAX			
参加希望分科会	第1	第2	第3 第4 (〇をつけてください)